

令和5年度 地理B シラバス

●科目名：地理B ●単位数：4単位 ●学年：3学年全日制普通科（選択科目）

1. 目標

現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 成績評価

①定期テスト

日頃の学習を確実に理解しているかを確かめるため、年間5回の定期考査を実地する。

②提出物

日頃の授業中に配布するプリントやノートを提出させる。

③授業

出欠状況や授業中の発問などを通して、科目に対する主体的な姿勢を評価する。

【定期テスト：70%、出席状況、授業態度、提出物等30%】

3. 使用教科書・教材

①教科書：帝国書院「新詳地理B」最新版 ②地図帳：帝国書院「地歴高等地図」

4. 授業形態（3学年全クラス）

各クラスに、日本史Bと地理Bの履修者がおり、複数のクラスで、両科目の合同クラスを形成し、教科担当による一斉授業を展開する。

5. 学習方法と時間配分

①年度はじめに、当科目に関するガイダンスを行う。

②4月前半の授業では、科目の基礎となる地形名や国名などを徹底的に確認する。（10h）

③授業は進捗表に従って行う。（108h）

④適宜ビデオ教材を活用する時間や調べ学習する時間を設ける。（12h）

⑤定期考査の前には、その対策と解答復習の時間を設ける。（10h）

6 授業進度表

月	単元と項目	数時	学習の目標（ねらい）及び内容
4	第Ⅰ部 1章 地理情報と地図 1節 現代世界の地図	1	現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。
	さまざまな地図と地理的技能 2節 地図の種類とその利用 1 地球儀とさまざまな地図 2 時差の求め方	1	地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。
	3節 地理情報の地図化	1	地理情報の地図化について、地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気づき、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。
	2章 地図の活用と地域調査	2	地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身につける。
5	第Ⅱ部 1章 自然環境 1節 世界の地形 1 世界の大地形 2 外的営力によってつくられる小地形 3 その他の地形	6	世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。
	2節 世界の気候 1 気候の成り立ち 2 世界の気候区分 3 植生と土壌	9	世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。
	3節 日本の自然の特徴と人々の生活 1 日本の地形 2 日本の気候 3 日本の自然災害と防災	2	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。
	4節 環境問題 1 世界の環境問題 2 さまざまな環境問題 3 日本の環境問題	5	環境問題について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、さまざまな環境問題のうちから地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。
	2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化	0.5	産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。
	6	2節 世界の農林水産業 1 農業の発達と分布 2 世界の農業地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 世界の林業・水産業 5 日本の農林水産業	5.5
3節 食料問題 1 世界の食料問題 2 さまざまな食料問題 3 日本の食料問題		2	食料問題について、世界の食料需給の地域的ななかたよりを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。
4節 世界のエネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の利用と分布 2 鉱産資源の分布		3	世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。

6 授業進度表

月	単元と項目	数時	学習の目標（ねらい）及び内容
7	5節 資源・エネルギー問題 1 現代世界の資源・エネルギー問題 2 さまざまな資源・エネルギー問題 3 日本の資源・エネルギー問題	3	資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。
	6節 世界の工業 1 工業の発達と立地 2 世界の工業地域 3 現代世界の工業の現状と課題 4 日本の工業	6	世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。
9	7節 第3次産業 1 第3次産業の発展 2 世界の観光業	1	第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察する。
	8節 世界を結ぶ交通・通信 1 世界の交通網 2 情報と通信	1	世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。
	9節 現代世界の貿易と経済圏 1 私たちの生活を支える貿易 2 現代世界の貿易の現状と課題 3 日本の貿易の現状と課題	2	現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。
	3章 人口、村落・都市 1章 世界の人口	1	世界の人口について、世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。
	2章 人口問題 1 世界の人口問題 2 発展途上国の人口問題 3 先進国の人口問題 4 日本の人口問題	2	人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。
10	3章 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の機能と生活 4 日本の都市	4	村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。
	4章 都市・居住問題 1 世界の都市・居住問題 2 日本の都市・居住問題	4	都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、その要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例で考察するとともに、都市・居住問題の解決には何が必要かを考察する。
	4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化 1 生活文化の地域的差異 2 生活文化の世界的な画一化 3 日本の生活文化	2	生活文化について、衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察する。
	2節 民族と宗教 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	2	民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。
	3節 現代世界の国家	1	現代世界の国家について、国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。

6 授業進度表

月	単元と項目	数時	学習の目標（ねらい）及び内容
11	4節 民族・領土問題 1 世界の民族・領土問題 2 民族・領土から捉えた日本 3 民族と宗教の共生に向けての課題	5	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。
	第Ⅲ部 1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分とは何か	0.4	地域区分とは何かについて、地域の概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。
	2節 地域区分のさまざまなスケール	0.3	地域区分のさまざまなスケールについて、大地域と小地域のスケールによる違いを理解し、有用性に気づく。
	2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法	0.3	地誌の考察方法について、地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。
12	2節 東アジア 変化に富んだ地形と気候 1 多くの民族と人口を抱える中国 2 中国の食生活と農業の変化 3 中国の工業化と経済発展 4 今後の中国の動向と日本 5 朝鮮半島の成り立ち 6 韓国の産業の発展と変化 7 隣国との交流と今後の動向	7	東アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	3節 東南アジア モンスーンの影響を受ける自然 1 東南アジアの歴史と多様性に富む文化・民族 2 東南アジアの農業とその変化 3 ASEANの結成と工業の発展 4 ASEAN諸国の変化と諸課題	4	東南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	4節 南アジア 三つに分けられる地形とモンスーンの影響を受ける気候 1 南アジアの歩みとヒンドゥー教 2 インドの農業と農村の変化 3 発展するインドの工業・IT産業	3	南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然 1 イスラームを中心とした生活文化 2 交易を軸に発達した都市 3 めぐまれた資源と産業	3	西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。

6 授業進度表

月	単元と項目	数時	学習の目標（ねらい）及び内容
1	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 一次産品への依存が強い産業 3 人々の生活の変化と他地域との結びつき	3	北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。
	7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地 1 ヨーロッパの成り立ち 2 結びつくヨーロッパ 3 ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策 4 移り変わるヨーロッパの工業 5 これからのヨーロッパ	5	ヨーロッパについて、形式的な地域区分に基づき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	8節 ロシア 広大な国土と多様な自然環境 1 ロシアの歴史と社会の変化 2 大きく変化したロシアの産業 3 極東ロシアと日本の結びつき	2	ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	9節 アングロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 アメリカ合衆国の人口と都市 3 世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国 4 進展する科学技術と産業 5 世界のなかのアメリカ合衆国 6 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ	5	アングロアメリカについて、ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界のなかのアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。
	10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制と農業の変化 3 鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化	3	ラテンアメリカについて、ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動的に考察する、

6 授業進度表

月	単元と項目	数時	学習の目標（ねらい）及び内容
2	11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1 オセアニアの 移民の歴史と多文化社会 2 モノや人の移動で強まる アジアとの結びつき 3 資源を通じて強まるアジア 諸国との 結びつき 4 アジア諸国に輸出される農 畜産物	3	オセアニアについて、形式的な地域区分に基づき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動的に考察する。
	3章 現代世界と日本	1	現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。